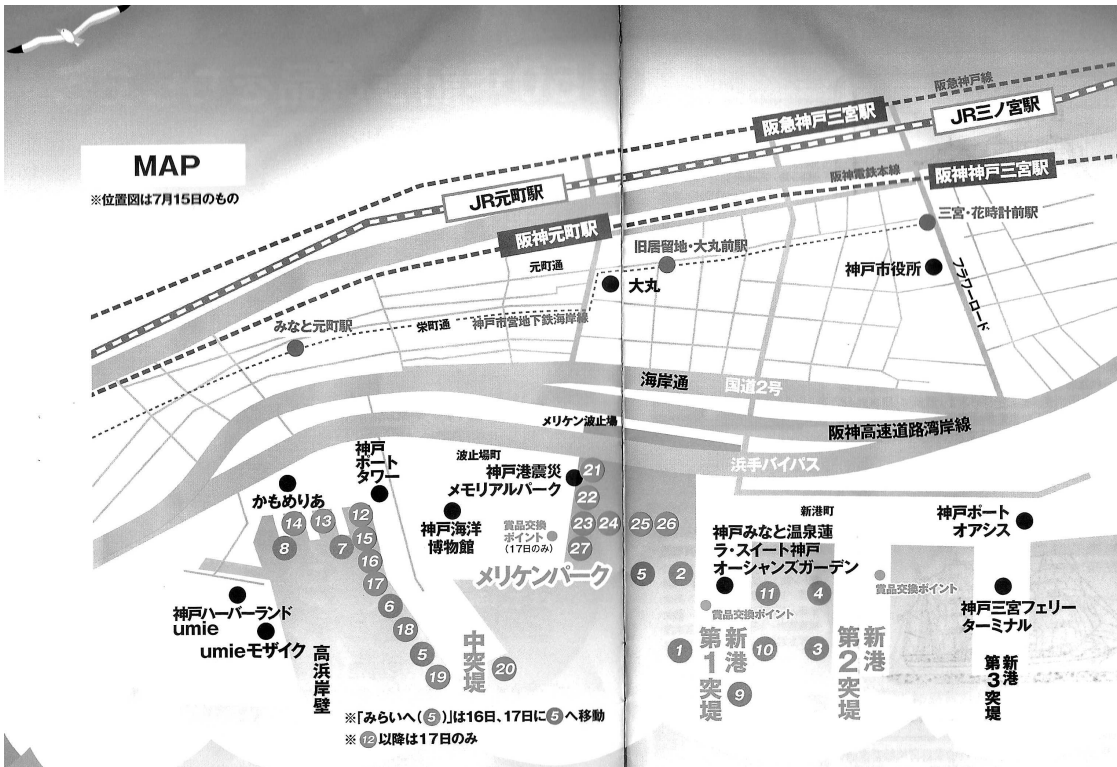




## 帆船フェスティバル

ふちんかん

ここでは海フェスタ神戸のうち、第1突堤・第2突堤で行われたイベントを紹介します。表題の帆船フェスティバルがメインでございます。



### 軽くジョブジョーク

いきなりなぞなぞです。「帆船に必要なものは何でしょう?」

wiki 先生的解答なら

「帆船（はんせん）とは「帆」に風を受けて推進力とする船のことである。」

しかしまあ、なぞなぞですから解答は

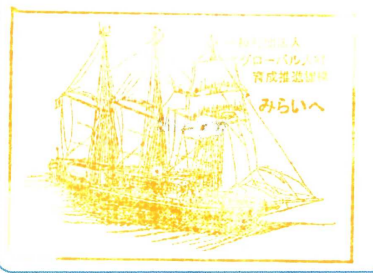
「マストが必須（マスト）！」

となるわけですね。

さて紙面も暖まって？きたところで、みなと神戸の第1突堤から第2突堤にかけ、堂々集結した帆船（等）を紹介していくことにしましょう。




# 神戸 港まつり



**⑤ 帆船「みらいへ」**

所属：一般社団法人グローバル人材育成推進機構

- ・竣工/1993年3月
- ・総トン数/230トン
- ・全長/52.16m
- ・全幅/8.60m
- ・航海速力/9.17ノット
- ・定員/40名



本船は一般の方が乗船できる帆船です。大阪市が「あこがれ」の船名で住友重機械工業(株)浦賀艦船工場で建造。現在は、(一社)グローバル人材育成推進機構が神戸港を基点に「地球人になるろ」をテーマに、日本全国でセイルトレーニングや企業研修、天文ワークショップ等を展開しています。帆船による航海を通して、船や自然、歴史や文化を体験しながら学ぶ楽しさを学習することができます。

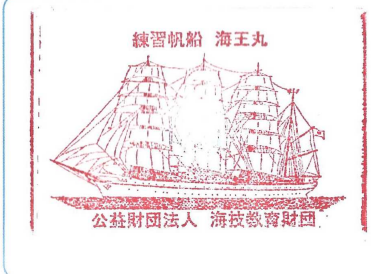
**帆船その1 「みらいへ」**

イベント開始時刻直前に現地に到着した時点で、この日の目玉である海王丸近辺は黒山の人だかり。対照的に手前に停泊中の「みらいへ」はガラガラ。イベント開始の鐘の音と同時にほぼ一番乗りで乗船体験します。ここでは反り上がった船首であるとか、風による船体のゆれであるとか、高い帆柱と対照的に低い居室であるとか、帆船の当たり前を感じ取ることができて良かったです。

☞ 舵取ってご機嫌さんです

👉 椰子の実がデッキブラシなんですね


帆船の生活では朝ごはんの前にデッキ掃き作業(タンツ)を行います。海水をまいたデッキをヤシの葉でゴシゴシ磨けば、ヒカヒカになりますよ！  
タンツ-体験してみませんか



**① 練習帆船「海王丸」**

所属：公益財団法人海技教育財団

- ・竣工/1989年9月
- ・総トン数/2,556トン
- ・全長/110.09m
- ・全幅/13.8m
- ・航海速力/12.95ノット
- ・実習生定員/108名+一般20名



「海王丸」は、公益財団法人海技教育財団の所属で海技教育機構の練習帆船「日本丸」とは姉妹船にあたります。船首部には「紺青」と名付けられた船首像が取り付けられており、船体の青い二重線で「日本丸」と区別することができます。運航は「日本丸」と同じ海技教育機構が行っていますが、「海王丸」は実習生以外に一般の民間人も乗船することができます。

**帆船その2 「海王丸」**

この日一番人気の「海王丸」。スタンプラリーに並ぶだけで強い日差しにくらっときそうだったので、中に入るための長蛇の列に並んだりはしません(キリッ)。ただその船体の大きさは外からでも十分にわかりました、これで十分。



## 汽船その1 「大成丸」

流れで入ってしまった「大成丸」これは帆船ではなく汽船で船舶職員となるための練習船であります。いったん入ると一方通行で上から下までぐるっと回る形で順路が設定されており、エスケープは許されません。そしてあちこちに学生さんが配置されていて挨拶されます、律儀に返礼していたらちょっと疲れます。

ここでは高い視点から神戸港が見渡せたので、海王丸の全体像が撮影できたことや後で乗る「コリアナ」という帆船が波を受けてかなり揺れていることが目視できたのは良かったです。帆船ってのはバランス悪いんですね。

船内見学中の食堂では、ご飯が炊きあがる直前の熱気を伴う匂いとその後カレーのスパイシーな香りが漂っていて、これは素晴らしい演出だと思いました、試食があるととっても良かったです。「大成丸」さんには今後も「匂い」+「味」の展示を追求していただきたいものです。といっても男臭い船室の匂いとかトイレのアンモニア臭とかの実物展示は遠慮します。

下船後、「青雲丸」「銀河丸」をスタンプだけ押して通り過ぎ、第2突堤へと向かいます。



「大成丸」は海技教育機構の汽船練習船の中で最もコンパクトな船体をもつ最新の内航海用練習船です。船橋からの視界や操縦の感覚を内航海用船舶と類似させるため、海技教育機構の練習船として初めて船橋を中央部に配置しています。国内海上輸送を担う内航海運業界が待望する即戦力とな

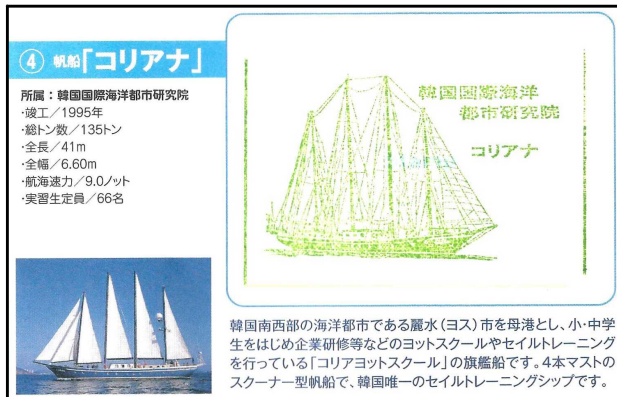


## 帆船その3 「コリアナ」

今回見た船の中ではもっとも小さい船です。名前の通り韓国籍の練習船です。

空いていたので乗船。前述の揺れと狭い船室でお約束の頭ぶつけを体験しました。

また船室のエアコンがサムスン製だったのはさすがです。



韓国南西部の海洋都市である麗水(ユス)市を母港とし、小・中学生をはじめ企業研修等などのヨットスクールやセイルトレーニングを行っている「コリアヨットスクール」の旗艦船です。4本マストのスクナー型帆船で、韓国唯一のセイルトレーニングシップです。



船底の作業室  
アングラ感が半端なく「工作船」という言葉が頭に浮かびます。

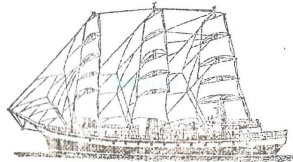


# 神戸 港まつり

## ③ 帆船「パラダ」

所属：ロシア極東漁業技術大学

- ・竣工／1989年6月
- ・総トン数／2,284トン
- ・全長／108.60m
- ・全幅／14.0m
- ・航海速度／11.6ノット
- ・実習生定員／144名



ロシア極東漁業技術大学 パラダ

ロシア極東漁業技術大学所属の練習帆船で、ウラジオストック港を母港とし、海技学校や水産学校の学生の研修船として使用されています。幕末の1853年8月22日(嘉永6年7月18日)、ペリーの浦賀来航直後に、ロシア使節極東艦隊司令官ブチャーチンがロシア艦隊4隻を率いて通商を求めてロシア艦隊4隻が長崎に来航しましたが、その時の旗艦がパラダ(現在の帆船とは別)でした。

## 帆船その4 「パラダ」

最後は大国ロシアの練習船です。おそらく海王丸と人気を二分する船だと思っのですが、あまり乗船のための列も長くありません。乗ってみようかなと思ったのですが、実は受け付け終了時刻を過ぎていたのでした。一般公開の2時間は思っていたより短く感じたのであります。



## 東灘御影地区のだんじり

帆船フェスティバルの一般公開終了後、どういうノリか第2突堤ではだんじり練り廻しの披露がありました。周囲は「はっぴ」着用率が高まり、お祭りムード高揚には一躍買っていましたね。

私的には練り回しそのものよりもドローンによる近接上空撮影の方に目を奪われました。

## スタンプラリー

帆船フェスティバルではパンフレットがスタンプ帳になっていて、押したスタンプの数によって、プレゼントがもらえるしくみになっています。とりあえず3つで水かお茶を、7つでクリアファイルとバッジをもらえるというもので、当然すべて頂戴しましたよ。スタンプ3つでドリンクというのは熱中症対策としても良いアイデアだと思うのですが、炎天下で並んでいる間に熱中症とならないようにスタンプの数は増やした方が良いでしょう。

つぎはメリケンパークへGOっす。